

校長 田村 嘉則

やわらかな日差しと爽やかな空気に包まれて、木々の芽も膨らみ、春の息吹を感じる頃となりました。保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。中学校三年間の全過程を終え、義務教育九年間を修了されました。これまでの子育ての苦労や喜びが走馬灯のように脳裏をよぎり、感慨もひとしおのこととお察しいたします。義務教育が修了するとはいえ、まだまだ保護者のお力添えが必要なことがたくさんあります。今後とも、お子様の成長を付かず離れずの距離で見守ってくださいますようお願い申し上げます。

さて、三年生の生徒のみなさん、卒業の時を迎えました。今日までよくがんばったことに本校職員を代表して祝意を述べます。卒業おめでとう。様々な事があったこの三年間、楽しかった喜びもあれば、不安で苦しい思いをして悩んだ日々もあったことでしょう。今日、本校を卒業していく君たちに、卒業のはなむけとして、校長の私から1つ話をします。新しい世界の扉の鍵は、いつも開いています。その扉を開けて、一步踏み出すのは自分です。でも、焦る必要はありません。人と競う必要もありません。自分の心が、yes、okと言ったとき扉を開けて、一步踏み出してください。ただし、それには、少しの意欲と少しの勇気を持つことは必要です。今日、体育館での卒業式に参加した生徒達は、みな不安と闘いながら、懸命に努力し、悩み、苦しみながらも高校入試にチャレンジしたのです。みなさんにもできないはずはありません。心と身体のエネルギーが充電されたら、笑顔で元気にがんばってください。困ったときには、いつでも飯沼中学校を訪ねてください。

巣立ち行く君達の今後の健康と限りない可能性、そして今後の活躍を祈念すると共に、御臨席を賜りました保護者の皆様に重ねてお礼を申し上げ、式辞といたします。

令和三年三月十三日 春日部市立飯沼中学校長